

講演会

みんなで考えるアスベスト疾患 ～アスベスト(石綿)は発がん物質だとご存じですか～

アスベストを吸うと長い潜伏期間を経てある日突然、命を脅かすような中皮腫、肺がん、他の呼吸器疾患を発症します。2019年全国での中皮腫死亡者数は1466人でした。なかでも大阪、東京、兵庫が「ワースト3」です。関西圏はアスベスト疾患患者がとても多いです。そしてアスベストが原因とされる肺がんは中皮腫の2倍いるといわれています。

アスベストは天然の鉱物で主として海外から大量に輸入され、日本では「石綿」としてその利便性から断熱材、建材、日用品など多くの場所で使用されてきました。輸入量は1000万トンともいわれています。すでに石綿含有製品は製造使用禁止になっているので「アスベスト問題はもう過去のこと」と考えている方も多くいることでしょう。しかし今もなお、私たちの周辺にアスベストの危険は存在しています。現在、古い建物の建て替えや解体工事が周辺でさかんに行われています。これらの多くの建物の中にもアスベストが存在しています。先日から問題になっている「珪藻土バスマット」の中にも混入していました。アスベストは体内に入ってから発症するまで長い時間がかかります。しかも、体内のアスベストは決して消え去ることはありません。長い時を経て突然に発症することから「静かな時限爆弾」といわれています。

吸ってしまったアスベストとの向き合い方、そしてアスベストを吸わないために出来ることは、など専門家の講演を通じて、みんなで考えたいと思います。なお当日は、長年患者と家族に寄り添いその姿を撮し続けている今井明さんの写真展「アスベストの真実」も開催します。

講師 (敬称略・順不同)

岡部和倫(ベルランド総合病院呼吸器腫瘍外科部長)

長松康子(聖路加国際大学国際看護学准教授)

永倉冬史(中皮腫・じん肺・アスベストセンター事務局長)

野崎朋未(映像ディレクター)

古川和子(アスベスト疾患・患者と家族の会堺対策チーム)

写真展：今井明(写真家)



日時：2021年3月27日(土)13時～16時(受付12:30～)
会場：社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 地下ホール

〒599-8247大阪府堺市中区東山500番地の3

■泉北高速鉄道深井駅より 南海バス(泉ヶ丘行き・あみだ池行き) 東中学前バス停下車徒歩1分。
または(北野田駅前行き)高山バス停下車徒歩約5分。

■南海高野線北野田駅より 南海バス(西区役所前行き・東山車庫前行き・深井駅行き) 高山バス停下車徒歩約5分。

参加費：無 料 (コロナ対策のため申込をお願いします)

コロナ感染状況によりで開催方法に変更が生じる場合があります

実施団体：中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会堺対策チーム

堺市堺区南瓦町2-1 堺市総合福祉会館2階

堺市民活動サポートセンター メールBox53号

TEL:050-3592-3903 FAX:072-249-7161 mail:amiantonet@gmail.com

この事業は公益財団法人大阪成人病予防協会助成金によるものです